

### 平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	皆で考え担う新しい移送サービス創出事業
事業主体 (連絡先)	小谷村 北安曇郡小谷村大字中小谷丙131 0261-82-2001
事業区分	地域共働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,975,078円 (うち支援金: 2,283,000円)

#### 事業内容

講習会とタクシー乗車体験を村内6会場で開催。公共交通の使い方を学ぶ機会を持ち、移動手段の選択肢を周知。合わせて安全運転の普及を図った。また住民参加型の勉強会を開催し、現在課題となっている事の整理を図りながら、住民と協働で取り組める内容を意見交換した。安全運転継続に際しては、「ゆっくり走っている」旨を周知するマグネットシールを作成し車両に貼り付け。合わせてポスターを作成することで広く取組をPRした。本事業に付随し、アンケート調査や交通体験イベントの開催、勉強会を多地域で開催することで、広く住民協働が図れるように、最終的には提言書を作成した。



【住民を参加の勉強会】

#### 【目標・ねらい】

- ①公共交通の利用方法や体験を通じた既存公共交通の利用促進。
- ②住民協働で移動手段の課題を整理し、担い手の確保と新たな移送サービス創出。

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

村内6会場場で公共交通の講習会とタクシー乗車体験を行い58名の参加者が集まった。公共交通機関の利用方法を知り免許返納への準備を行うことができた。参加者にはマグネットシールを配布。安全運転継続の意識付を行うことができた。参加できなかった高齢者への配布を行うことで、広く意識付を行うことができた。また住民を交えた勉強会では、現状を整理し、限られた公共交通機関を有効に活用しつつ、住民と共に検討することで、住民が担える援助の方法や具体的な提案を受け新しい移送サービスの創出に向けた方向性を顕在化できた。アイデア等は提言書にまとめ村に提出できた。

#### ※自己評価【 B 】

#### 【理由】

高齢者や支援者になり得る住民の参加を得て、意識改革が図れたことで、村で暮らし続けるための移動手段を新たに創出する気運が高まった。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

顕在化した住民協働の移送サービスの方向性を、トライアルしながら具現化していく。提言書を元に関係機関との協議・協働を進めながら、公共交通機関の維持や活性化の他、住民が取り組みやすい移送サービスの創出を図る。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた  
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある